



平成30年度CTF松阪通常総会開催

平成 30 年 5 月 12 日(土)まどみのやかた見庵にて NPO 法人 CTF 松阪の平成 30 年度通常総会が開催されました。当日は天候にもめぐまれ、正会員様には多数ご出席いただきありがとうございました。

議長の議事進行により、平成 29 年度事業報告および平成 29 年度活動計算書、平成 30 年度事業計画および平成 30 年度活動予算について審議を行い、いずれも原案どおり議決されました。会員の皆様には建設的な意見をいただきありがとうございました。今年度も昨年同様皆様のご協力いただき活動してまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて総会後は皆様お待ちかねの恒例昼食会となり大いに盛り上がりました。



昨年どこかでもらった鉢植えのミニバラですが枯れてしまいました。だめもとで庭の隅に植え替えてありましたが、5 月の初旬ごろからバラのつぼみが膨らみはじめ元気に花が咲くようになりました。

それにしてもバラの漢字難しいですね。「薔薇」って書きますが、これでバラって読むのですね。「薔」「薇」という漢字がそれぞれ「バラ」意外に使われているのを見たことがないです。

バラは英語で「ローズ」ですが、ラテン語の「ローザ」に由来する呼び名とされているらしいです。

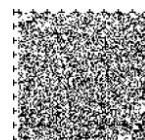
バラの名前は、もともと「いばら」から始まり古くは「うばら」ともいわれていたようです。「いばら」や「うばら」という言葉には、「刺のある小さな花木」という意味があるらしく、バラの仲間はその姿からもわかるように、低木の花で刺が多い事から「バラ」という名前が古くから人々に愛されてきたようです。

なにはともあれ来年もいっぱい花が咲くといいな～

UP



今月号は文字数が多いので、第 3 ページ、第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 3 ページ、第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。

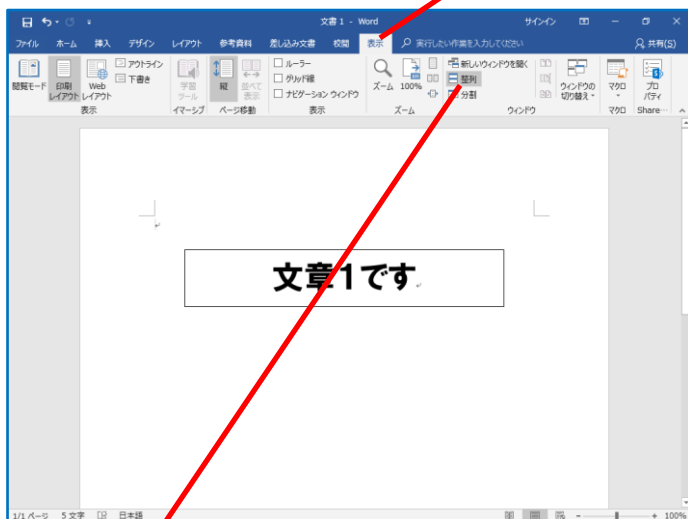


Word 2つの文書を並べて表示する方法

Wordで2つの文書の内容を比較したいときは、[整列]の機能を利用して並べて表示すると便利ですその方法を紹介します。

あらかじめ2つの文書を開いておく

① [表示] タブをクリック



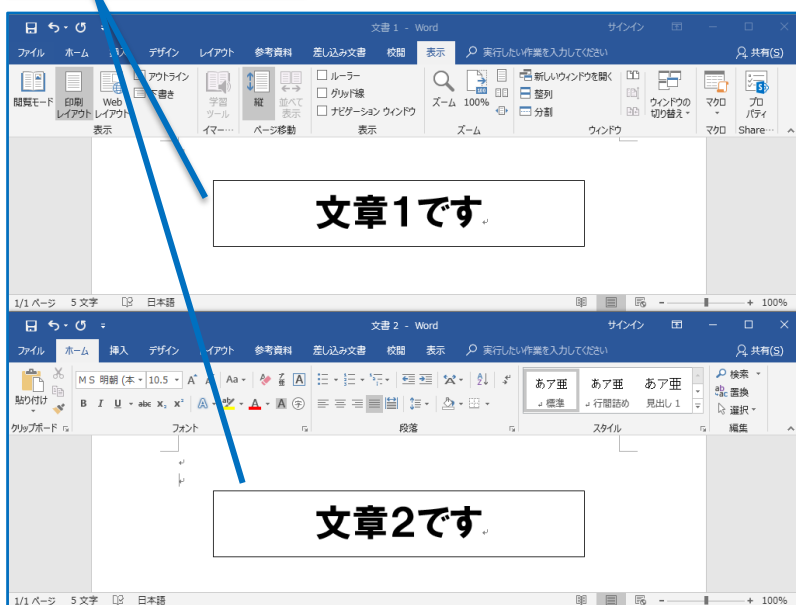
2つの文書を並べて表示するには

一方の文書を参考にしながらもう一方の文書を作成するときは、2つの文書を同時に表示すると便利です。

複数の文書を並べて表示するときは、[表示]タブの[整列]ボタンをクリックします。すると、現在開いている複数の文書が上下に並んで表示されます。一方の文書を閉じると、自動的に整列が解除されます。

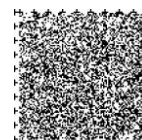
② [整列] をクリック

2つの文書が上下に並んで表示された



[閉じる]をクリックすると整列が解除される

文書左右に並べて比較したい時は、[並べて比較]をクリックしてもよい





活動報告

【5月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(1日、8日、15日、22日)

30年度CTF 松阪通常総会

(12日)

難病患者さんへの意思伝達支援

(23日、24日、29日、30日)



活動予定

【6月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

5日、12日、19日、26日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

徒然なるままに



お伊勢さん 125社というのをご存じじゃるか？

今回は寄り道をして、『伊勢参宮名所図会』（いせさんぐうめいしよずえ）を紹介しよう。

寛政9年（1797）に京都・大阪の版元から出版された本編6冊、附録2冊の合計8冊からなる**伊勢参宮の案内書**で、数ある案内記や道中記の中で最も詳しい決定版といえるものである、えへん。

巻一と巻二では、**京都三条大橋**を起点に**東海道・伊勢別街道**を歩いて一身田の**高田本山専修寺**を過ぎた**大部田**（津市上浜町付近）つまり伊勢別街道と伊勢（参宮）街道の合流点まで、巻三では**桑名**から**東海道・伊勢街道**を歩いて宮川の手前の**小俣**までが納められ、伊勢に向かう各街道沿いの宿場や村の地誌、社寺・名所旧跡が絵入りで紹介されているのじゃ。巻四では、**宮川**を渡り**山田**と**外宮**から**古市**を歩いて**五十鈴川**まで、巻五には、**内宮**はじめ**朝熊山・二見・鳥羽志摩**などの伊勢周辺や、**伊勢神宮**の**祭祀・神宝・装束・遷宮・神職**などについて、また附録には**近江国内**の名所旧跡の解説が絵を添えて詳細に記されておる。

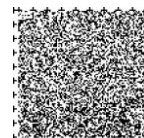
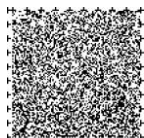


伊勢に向かう街道風景を描いた挿図には、**徒歩や駕籠**、あるいは**三宝荒神**と呼ばれる**独特の鞍をかけた馬に乗る参宮者の姿**が生き生きと描かれ、宮川を渡ったあたりでは**参宮客を迎える御師の手代の姿**もみえる。また、間の山や古市のにぎわいの風景は「**伊勢参宮 大神宮へも一寸寄り**」という当時の川柳のように、参宮が信仰面に加えて**娯楽的な色彩**をもっていたことも表しておる。

一方、内宮・外宮の正宮が描かれた図は現在の様子と違っておるぞ。板垣や外玉垣がみられず、人々は**玉串御門**（現在の内玉垣南御門）の前まで進んで参拝し、また、正宮の傍らには**末社巡り**と称して**多気・度会郡内**にある**神宮末社**のこまごまとした遙拝所を集めて短時間で巡拝できるようにした一画も描かれておる。

このように、江戸時代の参宮の様子や街道沿いの詳しい地誌を記録した貴重な資料と言える。当時、この図会やその他の案内書によって伊勢の情報が全国に伝えられ、人々はこれらを読んだり話に聞いたりして、豊富な予備知識を持って伊勢参宮に旅立ったのじゃ。

二百年以上前に出版された本であるが、早稲田大学図書館古典籍総合データベースや国立国会図書館デジタルコレクション、三重県総合博物館（津市一身田上津部 3060）などに所蔵されており、またデジタル化（写真化）されたものを見ることもできるのじゃ。わしも見たのじゃが、絵はともかくとして説明文が読みづらくて困った！！一度、絵だけでもご覧あれ。





雑草と水仙

天気は良い。日差しは充分あるが北寄りの風が今少しというところ。体感温度は低い。日向ぼっこのつもりでやれば良いと覚悟を決めて作業開始。

随分と放ったらかしていた。庭の草取りを先ずしなければいけない。花の種を蒔いても花が雑草に打ち勝つかどうかと思い種を蒔いてみたが負けてしまって雑草、雑草だ・・・。

その草取りをしないと花を植えてもいけないので雑草を取る決心をして始めた。けれどもいけないというかしっかり出来ないという事があった。作業人夫の仕事は久しぶりだ。長い間外の仕事をした事がないのである。それは一日5時間連続でする事は困難であった。

雑草は強い。葉だけならすぐにもちぎる事が出来ても茎、根から取ることは大変であった。葉の広い草は根こそぎ取ることが出来るが、チンチュク等は根も深く張りめぐって容易には取れない。少し耕してから根を取り除く事しか出来ない。少しでも残っていると又成長して茂ってくる。畳半分程取るのに1時間程かかった。毎日草取りばかりは出来ぬ。朝夕だとか、昼からだとか用事が出来ればできぬ。天候が悪ければダメです。部分的に取り除いた所には、長持ちのする球根類を植える。

その球根も2年ほどで消えるものも出てきた。

草花だけでなく枝のはる実のつけるもの、花を楽しむ木類等も植えてみるものと思った。梅の木、ツツジ、レモンの木等も植えてみたが雑草の力はすごい。植えて一服していると名の知らぬ雑草が茂って来て、木の根元の草取りをするだけで精いっぱいである。三年ほどでレモンは枯れた。

草花の球根、水仙・鈴蘭・チューリップ等植えたがこれもまた草に負けてしまった。

自分の仕事も一段落ついたので、今年はしっかりと手入れして少しでもよいから花をと思い、良い日を見て草取りにはげんだ。

雑草剤を使えばと人は云うが、自分の体が弱って来ているから薬に自分が負けてしまってはと使用をやめた。

今は、スイセンの花がキレイに咲いています。



S・Hより



編集後記

CTF 松阪の総会も無事終了しました。今年の総会は天候にもめぐまれ多くの方に参加者いただきました。来年の総会もみなさまの参加をお待ちしております。

当日近くの旧長谷川邸が無料開放されていましたが皆様方は見学されましたでしょうか？ 案内のガイドさんの説明とってもわかりやすかったです。

梅雨の季節になり何かと憂鬱な季節になりましたが体調管理には気をつけてください。



CTF 通信第 183 号

2018年(平成30年)6月発行
発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 山田 則 男

住所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電話 0598-21-7268

URL <http://ctf.dip.jp/>

